会　議　録

	令和８年度　第１回　石川町部活動地域展開推進協議会
	日　時：令和８年１０月５日（月）　１８時３０分から２０時０５分
	場　所：石川町役場第一・第二委員会室
	出席者：委員９名（石川中学校長含）
	欠席者：委員３名
	事務局：教育長、教育課長、生涯学習課長、課長補佐兼スポーツ振興係長、
	学校管理係長、スポーツ振興係主事　以上６名
	≪次第≫
	１．開会
	２．教育長あいさつ
	３．会長あいさつ
	４．議　事
	（１）部活動地域展開について
	①　前回会議の振り返り
	②　中学校部活動地域展開推進計画
	（２）休日の部活動地域展開実施計画について
	（３）その他
	①令和８年度推進協議会のスケジュール
	５．その他
	６．閉会
事務局	１．開会
教育長	２．教育長あいさつ
会長	３．会長あいさつ
会長	（１）部活動地域展開について①前回会議の振り返りについて、事務局から
	の説明を求めます。
事務局	（詳細に説明する）
委員	（１）①「前回会議の振り返り」中「広域（町村またぎ）のクラブチーム編
	成と行政補助の課題について」とあるが、ほかの町村との調整はしているのか。
事務局	広域でのクラブチーム編成の費用負担については、議論が進んでいません。
	この先クラブチームを編成するということもあろうかと思いますが、先行し
	ている自治体である須賀川市に話を聞いたところ、広域でのクラブチーム編
	成をしていても、須賀川市の生徒分しか費用負担はしないということでした。
	何かしらの広域のルールの検討も必要ですし、他の自治体の進捗状況も関係

	します。
	また財政状況など抱える事情もありますので、丁寧に時間をかけて周辺自治
	体と話をしなければならないと考えております。
委員	「事故対応マニュアル」の整備については、各団体で整備するのか。それと
	も町で整備するのか。
事務局	（２）休日の部活動地域展開実施計画中の「安全管理及び不適切指導の防止」
	という項目が関連しておりますので、この後、ご説明いたします。
委員	今は、中学校管理の下で部活動を実施している。
	そのため、事故が起きた時の対応やテストが近いときはテスト勉強のために、
	部活動を休みにするなど休養日の設定等、子ども達が活動しやすい環境になっ
	ている。
	令和１４年度に地域クラブに完全移行となった場合、活動の仕方については
	地域クラブ一任となるのか、もしくは町や体育協会などから指示命令が出るの
	かというのが気になる。また事故やケガが発生した場合の責任の所在について、
	今は中学校の管理の下であるが、これは完全にクラブチームでの責任となるの
	か、現状で分かることがあれば考えて欲しい。
事務局	今は、手探り状態です。各クラブチームによって、キャパも違うと思います
	ので丁寧に一団体ずつ話を進めていく形になると思います。行政が入るとやり
	にくいクラブチームも中にはあるかもしれないのでお話しを聞きながら進め
	ていきたいと思います。完全移行は今年、来年という話ではないので現状では
	段階を踏んで進めていければという回答とします。
教育長	スポーツ庁及び文化庁が地域展開における練習日の日数を示しており、基
	本的には平日に１日は休養日を設ける、また土日のいずれかは休みとなります。
	これは地域展開になっても、子どもの健康を害してはいけないという考えに
	よるものです。町としてもそれらの考えを無視してはいけないと考えておりま
	す。
会長	基本的には学校の教育活動が優先されるべきだと思う。学校をメインにした
	考えで進めていくべきだと考える。
委員	前回の振り返り「２．部活動指導員と外部指導者の連携・平日の指導体制の
	確認について」に関連するが、現在ソフトテニス部は１名が部活動指導員とし
	て協力しているが、町の配慮で部活動指導員をもう一名配置できる動きがある
	ということで、町から打診があり、登録の手続きを進めている。部活動指導員
	が２名体制で常時動けると一人の部活動指導員の負担が軽くなり柔軟な指導

	体制ができると考える。ただし、活動している指導員が６０代であるため、携
	われたとしても２～３年であろうと思う。やるからには継続できないと意味が
	ないので、それが課題であるが、やれる範囲で協力しようという結論に至った。
	二つ目には、令和１０年頃に近隣町村で完全に中学校から部活動をなくすと
	明言している町村もあると耳にしている。今現在、そのような広がりがあるの
	か伺う。石川郡内においても２年後は学校に部活動を置かない方針を出してい
	る町村があると耳にしたのと、県南地方でもそのような広がりがあると聞いた
	ので伺う。
	三つ目には、公立中学校の部活動は国が定める学習指導要領の教育課程の一
	環という形で記載されている。２０３０年は次の学習指導要領の改訂となり、
	２０４０年まで新しいものでスタートするわけだが、今年の年度初めの頃に２
	０３０年からの新しい学習指導要領の中においても、中学校においては、部活
	動と地域クラブが併記されている。学校の部活動が残っており、地域クラブも
	広く入ってくるという資料を目にしたことがあるが、そうなると休日の部活動
	の地域展開について、令和１４年度から地域クラブ活動へ完全移行とされてい
	るが、部活動が完全になくなれば良いわけだが、部活動がある場合に、石川町
	は地域クラブで行くのか、その辺りの見通しはどうか。
事務局	部活動をなくす宣言をしている町村があるというのは、噂程度では聞いたこ
	とがありますが、具体的な動きについては不明です。
	また学習指導要領については管轄外であるため回答が難しいですが、スケジ
	ュールイメージはあくまで国が定める方針に従えば、そこに向かう努力をして
	いかなければならないという風に認識しております。必ずしもこのように進む
	かどうかは分かりませんし、地域クラブが増えていくのかも定かではありませ
	んが、そこに向けた取り組みは進めていかなければならないと考えております。
	国としても全自治体がこの通りに行くとは考えていないと思います。
	ただ、その中でも町長がいう子どもたちの選択肢がひとつでも多く残るよう
	にという取り組みは、どの自治体であっても進めていかなければならないと考
	えておりますので、この図は理想的な形となりますが、この通りいかなければ
	何かしらの結論を出していかなければいけないという認識です。
教育長	委員の二つ目の質問に関してですが、石川郡内では玉川村が進んでおり、玉
	川元気クラブという広域の地域スポーツクラブがありますので、その点はスム
	ーズに進んでいるのかなと思います。
	また、石川郡内は浅川・平田・古殿、そして石川町も含めて何年後かには地
	域展開を完全に進めるという情報は入っておりません。なお、近隣ですと三春
	町がスポーツ庁の委託を受けて実施しておりますので、進んでいるという状況
	です。石川町は石川中学校の弦楽部が文化庁の委託を受けて既に平日から休日
	に石川フィルの方々にお世話になって活動をしています。
	また三つ目の、学習指導要領と部活動についての関連性ですが、先ほども

	話をしましたが練習日の設定や休日の在り方について、学校教育との関連も含
	め、地域クラブになったからクラブが好き勝手できるということはなく、必ず
	学校と地域クラブが連携をして、子どもの成長を育むという目的が根底にあり
	ます。子どもの健全な育成のための地域クラブということで基本的には考えて
	おりますことをご理解いただければと思います。
委員	中体連の主な大会は８月で終わっている。全国大会も８月で終わっているの
	で、この後新人戦もあるが、そこまで熱が入らない。中体連は３年生にとって
	は最後の大会であった。県のハンドボール協会から１０年計画が提示され来年
	から大会の在り方などに変更があり、中学生は夏に大きな大会がひとつある。
	また中体連は、再来年までは東北大会まで実施してくれるとの連絡があり中
	学校の名前でも、クラブとしての出場でも良いとのことであった。
	ハンドボール協会は外部指導者を準備して５月から来てもらっているが、協
	議会の開催が今になってしまった理由についてお聞きしたい。また、今日の資
	料に指導者の登録用紙があるが、これから登録するという話なのか。
事務局	開催が遅れてしまったことについては、申し訳ございません。休日に限らず
	その先を見据えて地域クラブを認定した場合や指導者を認定した場合などを
	想定したり、他団体の状況を調べたりというところで開催が遅れました。
	クラブチームの受入れ状況や財政的にどこまで負担するのかなど近隣自治
	体の状況も見据えていかないとならないので、今後も状況を見ながらの進め方
	が必要だと考えております。
	今後実施計画の中で各外部指導者を派遣していただけるクラブの皆さんと
	個別に話をしていきますが、その中で詳細な話を伺って実施計画に合致するよ
	うな内容の活動がされている、あるいは明らかな記録等が残っているというこ
	とであれば、ご相談に応じていきたいと思っておりますので、よろしくお願い
	いたします。
会長	ハンドボール部については休日の活動に既に指導員が入っていた。また、ソ
	フトテニス部についても、部活動指導員が休日も入っていたということか。
委員	ソフトテニス部は、平日の部活動指導員が休日も指導に当たっている。
会長	外部指導者が入って、不都合なく順調に進んでいるのか。
委員	派遣している指導者からすると、顧問の先生が顔を出すと安心すると言って
	いた。いない時には、何かあった時に大変不安になるとのことだった。基本的
	には石川中学校で活動しているので、それほど心配はないがハンドボールは接
	触が多く、指導者も様々なケガをこれまで目の当たりにしたので、それほど
	驚かないが、大人数になると子ども達をどう抑えるかが大変だと話をしている。

会長	当面は、外部指導者も入るが顧問の先生も入っての活動という予定であった
	と思う。
校長	ハンドボール部やソフトテニス部など、指導に入っている方には感謝しかあ
	りません。十分指導していただいており、大変有効性を感じているところです。
	なお、外部指導者だけでの部活動時間はほぼなく、顧問は顔を出していたと
	思います。それは外部指導員だけが部活動指導をしている際に、ケガがあると
	申し訳ないですからです。この半年、スムーズに活動ができていたと思います。
会長	（２）休日の部活動地域展開実施計画について事務局からの説明を求めます。
事務局	（詳細に説明する）
会長	（１．基本的な考え方　２．外部指導者の要件、指導体制及び役割について
	は質問なし。）
	２ページ目に「※外部指導者が単独ではできないこと」とあるが、当面、外
	部指導者と顧問がいるので大丈夫かと思うが、やがて顧問が付かないで地域ク
	ラブに任されたときにどうするかというのを考えていかなければならない。
事務局	委員がおっしゃった、顧問がいないと不安というのが指導して頂いている方
	の本音だと思います。それを払しょくするために考えていくというのがこれか
	らの取り組みなのだと思います。不安にならないようするにはどうしたらいい
	のか。それはこれからの課題ですし、みなさんの競技団体の中でどう解決して
	いくかという課題であると思います。それをクリアしなければ地域認定クラブ
	としてお任せできないというところにも、繋がるのかなと思います。
会長	３．安全管理及び不適切指導の防止について、ご意見があれば伺う。
教育長	２ページの【事故等発生時の対応流れ】とありますが、中学校にも事故対応
	マニュアルはあり、それに従って、万が一何かあった場合は顧問の先生が対応
	していただければと思います。基本的には、同じ中身かと思いますが、石川中
	学校で使っている事故対応マニュアルについて、顧問の先生が常時携帯してい
	るわけではないと思いますが、それを参考に事故対応をしていただければと思
	います。校長から顧問の先生に対してマニュアルを再確認するよう呼びかけて
	いただき、必要に応じてマニュアルの見直しに取り組んでもらえればと思いま
	す。
会長	（４．町からの財政的な支援については質疑なし。）
	５．その他

委員	人材募集の取り組みはいつから行うのか。
	今朝の福島民報に部活動指導員の記事が掲載されており、川俣高校の話だが、
	高校生時代に全国的に活躍された方で、地元を離れ一度就職したものの、地元
	に戻り川俣高校のアーチェリー部で競技経験を生かして部活動指導員という
	形で仕事と両立している方の記事を見た。
	生徒も、指導者に恵まれたと思う。私たちが知らないだけで、石川町内にも
	色々なスポーツを過去に経験されて自分から言い出せないが、何らかの発掘す
	る機会があって、声をかければ、これなら協力しようという方がいるかもしれ
	ないので、指導者を発掘するような取り組みの展開を求める。また、町内には
	私立の高校があり、高校時代に色々なスポーツで活躍している。ソフトテニス
	で言えば今年、昨年中学生の大会で全日本チャンピオンになった双子の姉妹が
	学石に入学し、あっという間に全国大会出場となった。そうした生徒がいつか
	は福島県を離れると思うが、石川町の高校で学んだので、石川に恩返ししよう
	かなという気持ちになれるように、町内の企業に勤めて仕事と自分の経験を生
	かせるような形で関わればと思うので、人材の発掘と指導者の育成を考えて頂
	ければと思う。
会長	外部指導者の募集について、取り組み案はあるか。
事務局	学校と丁寧に話をすべき内容だと思います。一方的に募集をして、応募があ
	れば誰でもどうぞとはなりませんし、顧問の先生のお考えもあるかと思います。
	こうした方法もあるということで資料には記載はしましたが、部活動を継続
	するために外部指導者を置きたいということであれば、実施していきたいと思
	います。
	また、ブカツサポートコンソーシアムというのは、民間団体でありますが、
	自治体の中学生の部活動を有料ですが取り組みをサポートする団体ですので、
	必要に応じて活用していきたいと思います。
委員	外部指導者が令和１４年度までにいない時にブカサポを使用した場合であ
	るが、この間に、地元の人が外部指導者をやりたいとなったときには、こちら
	は指導が洗練されていて、段階的な指導などしっかりしていると思うが、熱意
	をもって指導したいという地元の人がいたときに、ブカサポの指導者は外して、
	地元の方を入れることは可能なのか。
教育長	契約期間があったと思う。
委員	できれば地元の人で探したいと思うが、仕事の関係などで難しいと思う。
会長	ブカサポは、人材を派遣するところなのか。

事務局	依頼の仕方ですが、指導員が不足している際に派遣をしてくれる民間企業です。民間なので有料とはなります。
委員	現在、地域クラブの立ち上げ準備をしているので、認定地域クラブとなる要件を早急に示して欲しい。 また、町が認定した地域クラブが立ち上がった場合、例えば中学校の野球部は生徒を部活動として集めるのか、または認定地域クラブがあるので、そちらに参加してくれと促すのか、この辺りはどのようになるのか。保護者の意見を聞くと、地域クラブが立ち上がるのは嬉しいのだが、中学校の部活動はどうなるのかと質問を受ける。私個人としては、クラブチームがあるのでクラブチームに入ってもらうようになると回答した。中学校の部活動は生徒が入部しないので、部活動はなくすという認識で合っているか確認したい。また、広域の地域クラブを石川で考えた場合に、生徒の補助の金額も一人いくらなのか早めに示して欲しい。保護者に説明をしなければならない部分がかなりある。 その辺の基準をどうするのかと、中学校の部活動はどうなるのか回答願う。
会長	前回会議でもこのような要望があったかと思う。
事務局	地域クラブの認定手続き自体はそれほど難しいものではないと思います。指導者の認定手続きも同様に、複雑なものではないと考えます。認定クラブの要件として、例えば生徒の安全を確保してください、休養日を設けてくださいなど基本的な項目ですので、それを遵守することを宣誓していただき、その団体が存在している会則などを添付します。そのクラブチームの代表や会計は誰であるかなど、その辺りが整っていれば会員がいるいないに関係なく、運営する体制があるかどうかの確認で認定はできます。 認定した際に、町が一体どこまで支援できるかということにつきましては、まだ分析ができていません。町の財政サイドとも、財政的な支援ができるかなどの協議はこれからですが、須賀川市の状況を聞くと、土日の指導者の謝金や消耗品費の負担、保険の加入はしますが、全国大会に参加した場合の経費、旅費などの負担は何も考えていないという回答でした。 町として支援できるのは今回の実施計画にて示している対象者、石川中学校に在籍している生徒の分のみということには変わりないと思います。条件を広げても石川町に住所がある、そこまでの支援だと思います。クラブに対する支援ではなく生徒に対しての支援ですので、そこに留まるかなというところです。 クラブの認定の部分については、時間を頂き改めてお示しします。
委員	施設利用料も、認定クラブになれば免除になるか。
事務局	石川町内の生徒がいない場合は、減免することは厳しいです。

委員	剣道も石川郡内でクラブチームの立ち上げを検討している。委員のお話にもあったが、剣道については県南地区の競技人口が減っており、石川郡内の中学校で団体を組めるチームがなく、５人揃うチームはない。女子部員に至っては、石川郡内で今３人しかいない状態である。クラブチームになった時、各学校の部活動がなくなってしまうと、各学校から集まった１５人位のクラブにはなるので、個々の試合に出る機会がなくなってしまい、各学校の部活で出場した方が、試合・大会に出場する機会が増える。
	団体戦はクラブチーム、個人戦は各学校の部活動でという良いとこ取りはできない仕組みになっており悩ましいところではあるが、剣道もクラブチームの立ち上げを考えている。
会長	陸上でクラブチームに入っている子は、リレーのチームを組んだり個人で種目に出たりするとき、リレーは学校の名前で出たいからクラブチームには所属するけれど、学校の部活で出場するとか、逆に部活に所属しているが、リレーはクラブチームで出るとか子どもたちが選択する場面も実態としてある。
	学校の中に部活が残っているから、選択が迫られることもある。地域クラブが立ち上げられて、学校の部活に入る生徒がだんだん少なくなり、学校の事情として人数の少ない部活はなくしていこうという流れになると選択ができなくなり、委員が言うようにクラブチームで参加して大会に出られなくなるという弊害も生まれてくるので、学校の部活動も残して欲しいとの考えがある。
委員	各団体には上部団体があり、その判断により大きく左右される。
	ハンドボール協会がもらっている連絡では、来年以降は中体連がなくなるが、中学校のままで出場してもいいと言われている。クラブチームにしてもいいし、どちらでもと言われているが両方に出ることはダメである。ハンドボールは中体連とクラブの別々にあった大会を合わせて、高校生でいうインターハイと同じように、各県でひとつの大会をやるという方針に固めたそうだ。上部団体から情報をもらったことにより、ある程度やり方が見えて来たので、中体連の野球がどのように動いているのかとか、その辺の情報が取れればもう少し見えると思う。委員が言うように、クラブでも出られるが、クラブでは人数が増えて１チームになってしまう。その辺が剣道の上部団体で認めてくれるれば解消できることもある。ハンドボールはなるべく子どもを大会に出してあげたいので、どんどんうまく利用して大会に出るような形をとってきた。小学生はスポ少に登録すると１種目しかできないが、クラブチームで登録することが可能なので小体連の陸上で掛け持ちでやっていた子もいた。
	運動する機会と手立てを考え、子どもが運動できる環境を広く持たせたい。
	石川中に存在する部活動の、上部団体への確認は必要ではないか。
校長	今分かる範囲でお伝えしますが、認定クラブと部活動、両方での参加についてですが、種目ごとの判断となっております。中村会長がおっしゃるように陸

	上のいいとこ取りのようなことができるのは、出場する大会が違いますので可
	能となっています。その扱いは、しばらく変わらないと思います。
	また剣道部も地域認定クラブがあれば当然掛け持ちはできず、同じ町村から
	二つのチームが出られない仕組みとなっております。認定クラブが中体連に参
	加するとなった時点で、石川中剣道部での出場はなくなります。逆に石川中剣
	道部として出場の場合は、認定クラブは中体連には参加しないようにしないと
	いけません。
	また、委員の質問にお答えしますが、認定クラブが立ち上がった場合、石川
	中学校はどう対応するかについてですが、認定クラブが立ち上がったからと
	言って石川中野球部を廃部にはできません。なぜかというと、入学した時に二
	年後のことを何も想定されていなかったのに廃部というのは不可能です。ですか
	ら認定クラブが立ち上げとなっても、石川中野球部に所属する生徒がいれば廃
	部にはできません。急に来年野球部をなくすということは、学校からはありま
	せんし、最低２年、その生徒が卒業するまでは野球部を継続する必要があります。
	認定クラブを応援するために、あちらに行けとも、こちらに来いとも言えません。
	一人でも石川中野球部に入部したい生徒がいれば支援します。
	その支援の仕方は、合同チームというのがあります。今、石川中は単独チー
	ムですが、一時期、合同チームで参加した時もあります。それは、中体連として
	認められている形なので、最大限生かして石川中野球部が途切れない、継続
	してきた経過はあります。
会長	（３）その他　①今後のスケジュール
事務局	（詳細に説明）
事務局	５．その他（特になし）
	６．閉会
	（２０時０５分　閉会）



